



薬学を学ぶことが出来る工学部

受験当初は医療系に進みたいと思っていました。検査技師の資格取得が可能な大学、学部を目指していました。勉強していく中で、薬学部にも興味を持つようになりました。共通テストを終え、思ったほど点数が取れませんでした。予備校での面談で、工学部でも医薬品の研究ができる大学があると教えてもらいました。確実に合格したい、実家から出て一人暮らしをしたいという思いがありました。富山大学の工学部、生命工学コースを受験し、進学することにしました。

友人に恵まれて充実の学校生活に

入学後半年くらいは、当初の志望の学部ではないことで悔しい想いが強かったです。他大学への編入も考える時期もありました。授業を受けていくうちに専門科目が増え、富山大学で頑張りたいという気持ちに変わりました。生命工学コースは、1学年40人ほどです。コースの友人の顔はほぼわかります。中でも仲のいい友人と協力し、テスト勉強を頑張ってきたことが心の支えになりました。4年生になった今でも、コースの友人とはずっと仲が良いです。3年前期の授業が少ない時期には、みんなで富士登山や旅行をして、3年後期からの研究で忙しくなる学生生活に備えました(笑)

質問に行き、先生との信頼関係を築く

2年次から始まる有機化学の授業が面白く、のめり込みました。特に、岡田卓哉先生にはよく質問しました。事前にメールでアポを取り、研究室に行きました。一人でも、友人を巻き込んで、とにかくわからないことをわかるようになるまで足を運びました。3年後期で研究室仮配属の際に、興味を持った有機化学の分野の研究室であり、岡田先生が所属する生体機能性分子工学研究室に入りました。

頼りになる研究室のメンバー

僕は「がん細胞の増殖を抑える薬」をテーマに研究室で研究しています。同じ研究室内でもそれぞれの研究テーマは異なります。最初に先生からテーマを与えられた時は、「こんなに難しいこと、できるかな?」と思いました。先生をはじめとして、研究室の博士課程の先輩がとても頼りになるので、教えてもらった情報をもとに研究を進めています。現在、仮配属から3か月が経過し、少しずつ自分でできることも増えました。マウスを用いた実験などはないので、制約がなく、考えて手を動かしていただいくらでも研究を続けられるところが楽しいです。



広い視点と選択肢を得ることが出来た

元々医療系に進みたい思いがあったので、工学の分野から薬学へアプローチできる富山大学工学部の生命工学コースの選択は良かったと思っています。現在の研究を深めるため修士課程へ進み、その後は製薬会社で研究開発職に就きたいと考えています。